

1 AIJA の年次大会

今回は、AIJA (※) の年次大会に参加させていただきました。年次大会は、文字通り年に一回開催される、AIJA のメインイベントです。したがって、参加人数や規模も年間のイベントでは最大のものであり、前回の香港のときよりも多くの人と知りあえたり変わった企画が開催されたりしました。以下でいくつか紹介させていただきます。

また、今回の開催場所はローマであり、地球で最も人気の観光都市の一つです。言わずもがな、AIJA のイベントだけでなく観光も楽しみました。

※AIJA とは、世界各国の若手法曹関係者間の相互協力および相互尊重を促進するため、1962年に設立された45歳以下の法曹等有資格者を会員とする国際法曹団体であり、約90か国・約4000人が加盟しています(日弁連HP)。特徴としては、45歳以下の若手弁護士で構成される組織であること、ヨーロッパの弁護士がメンバーの大部分を占めることです。

2 ローマ人になりきる

イベントの一つに、ローマ時代の衣装を着て、一分弱の動画をチームで制作するというものがありました。舞台セットは映画の製作にも使われるような大規模なスタジオ(野外)で、本格的な動画を制作することになりました。みな、各々の衣装を身にまとい、ローマ人になりきって皇帝を切り伏せたり、優雅なローマ人の日々を演出したりしていました。

動画制作の後は、舞台スタジオを背景にパーティーとダンス会がありました。石造りの歴史を感じるローマ宮殿（のセット）が七色のネオンライトに照らされ、クラブミュージックが大音量で流れるといった、古代ローマと現代が入り混じる不思議な状況を楽しみました。



3 フットサルマッチ

最終日の日中、カメラマンさんも含めて30人ほどの有志が集まり、フットサル場でフットサルをしました。4チームに分かれた総当たり戦で、一チームにつき交代要員は一人ずつ程度、若いメンバーの多いAIJAといえど後半には全身で疲労を表現する人が続出していました。

我がチームは結果最下位に終わってしまいましたが、好きなスポーツを通じて交流できたこともあり、多くの人と親睦を深めることができました。

4 観光

AIJA イベントの合間を縫って、ローマの観光地にも足を運びました。トレヴィの泉やヴァチカン市国といった有名どころをはじめ、骸骨寺というややディ

ープな観光スポットまで多くの場所に行くことができました。

ローマでは、普通に道を歩いていると不意に歴史的な建造物が現れたり、古代ローマ時代の史跡が少しだけ残っている場所が見えたりと、あらゆるところで歴史を感じることができます。私は京都に住んでいたことがあるのですが、京都でも道を歩いていると「～屋敷跡」等の立て札が色々な場所に見え、歴史を感じることができました。生活のあらゆるところで歴史を感じられるのは、かつての王（皇）都だからこそなんだろうと感じました。

5 Fintech に関する講義

Fintech の法的問題に関する講義を受講しました。テクノロジー系の聞いたことがない専門用語も多く、議論についていくのに大変苦労しました。そんな中で、「世界の中で Fintech 市場が確立できているのはまだほんの一握りであり、途上国ではまだほとんどノータッチの状態です。先進国でも少ない。Fintech の問題は今後加速度的に増加するであろう。」との見解を聞き、テクノロジーについての勉強も本格的に始めようと思いました。現在、ひとまずは、以前取得した IT パスポートの本を見返したりしています。

6 まとめ

イベントを通じて、やはり年次大会なだけあって参加人数も多く、盛り上がり方が、今年の 5 月に香港で開催された半年次の大会のときよりも圧倒的に異なりました。

今回もまた、世界中の法律家の方々と知り合うことができ、ユニークな企画

や観光など、非常に楽しい時間を過ごすことができました。このような機会を提供していただいた弊社代表中山と、楽しい時間を共に過ごしてくれた AIJA メンバーに感謝いたします。



以上